

## 会議録

日時：令和4年6月27日（月）16：00～17：00

会場：岩手県立宮古北高等学校 大会議室

会議名：令和4年度 岩手県立宮古北高等学校 第1回学校評議員会

議長：大森博文〔宮古北高等学校／副校長〕 記録：藤倉琢哉〔宮古北高等学校／校務渉外部〕

出席者：（評議員）高橋 敦 小向広幸 前田宏紀（魅力化協働パートナー）齋藤清志 田中和七 早川 輝  
川部美紀子（以下、教職員）佐藤禎信 大森博文 中屋眞知子 佐々木和彦 新山繁昭 村上和隆 土岐政幸  
柴田俊浩 藤倉琢哉

- 1 開会のことば 大森博文（副校長）
- 2 評議員委嘱並びに校長挨拶 佐藤禎信（校長）
- 3 学校評議員・魅力化協働パートナー・職員自己紹介
- 4 学校概況説明並びに質疑応答 ※特記事項のない内容については資料の通り
  - ア 令和4年度学校経営計画及び教育指導計画の実施状況について
  - イ 令和4年度県受託事業について  
（いわての復興教育推進事業・復興担い手育成支援事業、高校の魅力化推進事業）
  - ウ 学校間交流等について
  - エ いじめ対策委員会について
  - オ スクール・ポリシーの策定について
- 5 学校評議員および魅力化協働パートナー助言
  - （1）中学校の課題が高校の課題になっていると感じた。学習への向き合い方など。  
宮古北校のスクールポリシーが素晴らしい。達成するには高い目標と思う。先生方の意欲の高さを感じる。
  - （2）宮古北高校で長男がお世話になった。今宮古短大で頑張っている。  
宮古北校にはほかの高校にはない魅力がある。息子の高校生活は、人として大切なことを学んだ3年間だった。今後も変わらず、指導をお願いしたい。
  - （3）今年度は新入生が20名以上あり、学習困難などいろいろな生徒が入学できることはよいと思う。  
存続できるように応援したい。卒業生が田老漁協に就職し、明るくよく働いてもらっている。  
よい生徒が入社したと思っている。こういう生徒がまだまだいると期待している。
  - （4）道の駅田老道路情報館に震災復興展示をしている。宮古北校にも情報を寄せてほしい。  
地域の高校生の姿を見せてほしい。
  - （5）自分はむかし、芸術大に行きたかったが挫折した経験がある。人生はうまくいくことの方が少ない。  
大切なのは、どんなときもめげないこと。未来を生き抜く力を育ててほしい。
  - （6）宮古北校のICT活用の現状について質問したい。  
（新山：クロームブックを問題解決型学習に役立てている。）  
生徒アンケートの自己評価について、発表体験の回数とともに、発表の技術の向上とか上達とかの視点があった方がよい。生徒の充実感は、たくさん活躍できる場があるともっと高まると思う。
  - （7）宮古北校の職場体験学習は、デイサービス利用者も楽しみにしている。  
夏休みを利用したボランティアについてもぜひ参加してもらいたい。
- 6 その他
- 7 閉会のことば 大森博文（副校長）